



PLUS ULTRA

HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和3年3月31日発行



令和3年

3/31

第62号

○人に優しく、学び続けよ 学校長 岡部 宣男	2ページ
○卒業生に贈る言葉	3ページ
○学窓の思い出	4~5ページ
○進学・就職状況	6~7ページ
○活躍する部活動	8~11ページ
○本校舎トピックス	12~13ページ
○富田キャンパストピックス	13~14ページ
○白鷗大学だより	15ページ
○PTAだより・生徒徒会・他	16ページ

表紙絵：大野ますみ



人に優しく、学び続けよ

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

自然の恵みが春の訪れを感じさせるこの佳き日に、卒業を迎えた406名の皆さん、卒業おめでとう。

本校での3年間、積み重ねてきた努力に心から称賛の拍手を送ります。特に3年次はコロナ禍の中、学習、学校行事、部活動などで数多くの「学ぶ機会」を奪われ、悔しい思いをしました。クラスの友達や部活動の仲間と会えない日々はつらく悲しいことだったと思います。本当によく頑張りました。しかし、その裏には入学以来、皆さんの健康や学習のサポート、部活動の応援など、絶えず気遣いながら皆さんの安全・安心を支えてくださったご家族を始めとする周囲の方々の励ましがあつたことを忘れないでください。

それぞれの進路に向かい飛び立つ卒業生、たくましく成長された凛々しい姿が目に見えます。21世紀を担う国際人として生きる皆さんに期待し、はなむけの言葉を贈ります。

第一に「学ぶ心、学ぶ姿勢を持ち続けてほしい」ということです。高校では社会に出る時に必要なたくまな学問・知識を学んだわけではなく、人生の諸問題を解決するための知識・知恵・判断力・専門的なスキルなどは、これから学ぶのです。大学や専門学校に進む人はもちろん、直ちに実社



会の仕事に携わる人もまだまだこれからです。学生時代の成績が良かったか悪かったかではなく、真剣に物事に取り組みかどうかによつて結果が左右されるのです。どうか、学ぶ心だけは生涯失うことなく、自己研鑽に努めてください。

第二に「人に優しく、人のためになる考え方ができる人間であって欲しい」ということです。

皆さんが生きてきた時代、またこれから生きていく時代は、変化の激しい、難しい時代です。社会の様々な問題は一つの国だけの問題ではなく、世界的な規模で考え、取り組まなければならない問題ばかりだということがコロナ禍の中で浮き彫りになっています。地球

温暖化による気候変動と大災害資源、エネルギーや産業構造の大転換、そして何よりも世界平和と安全、人々の平等と健康・福祉など、諸課題解決のため、人に対する優しい考えを持ち、優しい行動のとれる人になってください。

“Think Globally. Act Locally.”

一生の間には、自分の力でどうにもならないことが突然起こることも考えられます。では、そうした時代を乗り切るには何が必要でしょうか。我慢すること、節約すること、皆大事です。しかし私はどんな時代になっても大切なことは、試練に打ち勝つたくましい心、取り組み意欲、やる気など、いわゆるバイタリティだと思います。そしてバイタリティの根源——そ



れは皆さんが常に目標・夢を持つことです。

渡良瀬川の水もぬるみ、やがて校舎の周りの木々が芽を吹きます。通いなれた通学途中の風物とも別れ、皆さんはそれぞれ巣立っていきます。年々歳々花相似たり。歳々年々人同じからず。

卒業生の皆さん、いつの日か青春を懐かしむ時が来たら、母校をぜひ訪ねてください。そして、友と師とともに昔を語ってください。皆さん一人ひとりの健康と多幸を祈っています。

最後に、私の好きな言葉を贈ります。
「美しい花には、かくれた根の力がある」
それでは皆さん、ごきげんよう。



卒業生に贈る言葉

皆さんに贈る珠玉の名言



副校長 大橋 芳樹

何かを成し遂げた人々の言葉には重みがあり、時として、それらの言葉から勇気や元気をもらうことがあります。私が今までの人生の中で出会った珠玉の名言を二つプレゼントします。

「壁は全て、自分が作っている」…脳科学に造詣が深い解剖学者の養老孟司氏の言葉です。ベストセラーとなった「バカの壁」に加えて、「死の壁」、「自分」の壁などの「壁」シリーズを書いた、いわば「壁」の専門家です。超えられない「壁」が存在すると思えば、その「壁」の中に閉じこもっているのは自分自身なのです。自分が作ったありもしない「壁」に惑わされないようにしましょう。

もう一つは「置かれた場所で咲きなさい」…ノートルダム清心学園理事長の渡辺和子氏が書いたベストセラーの書名です。「どのような環境にあっても、そこで諦めることなく、

世界に一つだけの花として、自分しか咲かせられない花を咲かせる」というノートルダム清心学園の教育の在り方を端的に表した言葉です。
“best one”でなくてよいのです。誰にもならない“only one”を目指しましょう。

当たり前前に感謝



教頭 長 光則

この一年間は新型コロナウイルスの影響で、私達の生活は不自由なものとなりました。高校生活のメインイベントともいえる修学旅行の中止に始まり、インターハイなどの部活動の大会や各種行事の中止が相次いで発表されていきました。何より授業時間が大幅に削減され、進路に対する不安を抱えた人も少なくなかったと思います。

このコロナ禍によって、今まで当たり前前だったことが、実は当たり前ではなかったと、思い知らさ

牛になること



教頭 須藤 敏哉

卒業おめでとうございます。皆さんは2年生の3学期から、新型コロナウイルスという大きな災害に見舞われました。世界中が変化を強いられ、私たちは今も試行錯誤しながらこのウイルスと闘って

います。そんな困難の中、無事卒業を迎えた皆さん、これまでの日々の努力を誇り、これからの糧としてください。また、支えてくださった家族の皆様には改めて感謝申し上げます。

さて、このような時代に旅立つ皆さんに、夏目漱石が芥川龍之介に贈った言葉を紹介します。
「たゞ牛のやうに凶々しく進んでいくのが大事です・・・牛にな

コロナ禍から得たこと



総合進学コース長兼教務主任 渡邊 三代子

本校を巣立ち行く皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。
皆さんは、コロナの荒波をものにかぶる羽目になり、本当にコロナ一色の一年間でした。時には悩み、苦しみ、憤ることもあったと思います。しかし、得たことも沢山あったのではないのでしょうか。
コロナ差別やトレッドペーパーの買い占めなどが起きたことは、人間がいかに自分勝手に我儘で弱いものであるかということ

ることは、どうしても必要です。吾々とはかく馬になりたがるが、牛には中々なり切れない・・・あせってはなりません。頭を悪くしてはなりません。根気ずくでお出でなさい・・・世の中は根気の前に頭を下げることを知っています。「今年は丑年。馬として走り続ける方が格好良く見えるのかもしれませんが、コロナに限らず、人生は様々な試練の連続です。牛のように根気強く新たな歩みを始めてみてください。

改めて認識させてくれました。初代理事長上岡た津先生が「強く、優しく」とおっしゃっていたと聞いています。こんな時こそ、この言葉を胸に、私たちは我儘と戦い、自我をコントロールすることで自己抑制力につなげ、少しでも私たちが理想としている思いやりのある社会実現のために努力をすべきだと考えます。

卒業生の皆さん、何かを恐れるあまり、ごく当たり前前の人間性を失わないように、他人に関心を持ち、配慮が出来るように心がけてください。

月並みな言葉ですが、健康に留意し「強く、優しく」これからの人生を頑張ってください。

学窓の思い出



特別進学コース
3年1組
川俣 美陽
(白鷲足利中)

早稲田大学 政治経済学部 経済学科

本校での3年間は大変充実したものでした。今年度は新型コロナウイルスの影響による長期間の休校もあり、学校で過ごす時間も減ってしまいましたが、そのような状況下でも励まし合い、支え合うことができる友人たちはとても心強い存在でした。彼らと共に勉強や行事に全力で取り組んだ経験はかけがえのないものです。

中でも印象に残っているのは2年次に行われた富can祭です。私のクラスでは教室内にお化け屋敷風の迷路を作りまし



ように作業が進まず大変なこともありましたが、それ以上に皆で一つのものを作っていく楽しさを強く感じました。より怖い仕掛けを作ったりスペースを有効活用したりする為にアイデアを出し合ったことはとてもよい思い出です。

貴重な高校時代をこの富田キャンパスで送ることができて本当に良かったです。本校で得たものを胸にこれからも精進していきます。



特別進学コース
3年2組
前田 海音
(小山城南中)

東京農工大学 農学部 地域生態システム学科

本校で過ごした3年間は、仲間や先生に恵まれた貴重な時間でした。球技大会や文化祭、体育祭などの行事で、人と協力することの楽しさや達成感を感じることが出来たのは、一丸となって取り組むことが出来る仲間がいたからです。行事の時に限らず、休み時間の談笑や定期テストに向けた勉強の教え合い、体育の授業など、日々の学校生活が友人と過ごしたかけが

えない思い出です。

高校生活最後の年は大学入学試験制度の変更や新型コロナウイルスに翻弄された1年で、前例のない受験に不安を募らせることも多々ありました。そんな時クラスメイトと励まし合いながら共に受験に挑んだことは、今となっては良い経験になったと思います。また、受験を乗り切ることができたのは、先生方の助力があったからです。

人との出会いに恵まれ、晴れやかな気持ちで卒業することができたことへの感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。また、受験期に培った逆境や先の見えない状況下でも立ち向かっていける強い心を持ち続け、社会に貢献できるよう努力し続けたいと思います。



進学コース
3年2組
但野 愛果
(小山城南中)

早稲田大学 教育学部 教育学科

私は、学業も部活動も両立させたいと考え、富田キャンパスへの進学を決め、陸上競技部に入学しました。富田キャンパスで授業や課題をこなしながら、放課後陸上競技場へ通う日々は大変でしたが、とても充実した毎日でした。

学業で



は、尊敬できる友人たちと切磋琢磨し、精進することができました。部活動では、3年次にキャプテンを務めるなど貴重な経験を積むことができました。ご指導いただいた担任の先生方、教科



進学コース
3年4組
宮田 大和
(日本大学中等教育中)

東北大学 理学部 数学科

本校での3年間はたくさんの方人、先生方のお蔭で非常に充実した学校生活を送ることができました。特に数学の先生方には、普段の学習や受験指導で大変お世話になりました。

1、2年次には、勉強は勿論、宇都宮大学で開かれたi p u プログラム等課外活動にも主体的に参加し、その中で本質的な意味での学問に触れ、学ぶことの面白さを知ることができました。また、囲

の先生方、顧問の先生方、多くの仲間たち、そして家族に感謝しています。今年度は新型コロナウイルスの影響で、競技のラストシーズンとしても受験生としても非常に苦しい年でした。そのような状況であっても、仲間と共に笑いの絶えない高校生活を送ることができ、満足しています。大学進学後も人との出会いを大切に、本校での学びと経験を糧に努力していきます。3年間ありがとうございました。

碁将棋部では部長を務め、段位認定大会において初段を獲得することができました。これらの経験の中で、責任ある立場としてあるべき姿勢やひたむきに頑張り続けることの大切さを学べたことは、私にとっても意味のあるものとなりました。

3年生になるとコロナ渦の中、先の見えない状況で勉強をしなければならず、何度も心が折れかけました。そんな中でも頑張れたのは切磋琢磨しあう良き友、精神面でも僕らを支えてくれた素晴らしき先生方がいたからです。本当に感謝しています。大学入学はゴールではなくスタートです。これからは高校時代の経験を糧にして、よりいっそう勉学に励んでいきたいと思えます。



文理進学コース
3年1組
岡田 真琴
(館林四中)

国学院大学
法学部 法律学科

本校で過ごした3年間は驚くほどあっという間で、とても充実したものになりました。

私はバスケットボール部に所属してました。全国大会で良い結果が残せるよう、日々練習を重ねていく中で、怪我をしたり新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大会がなくなったりと思うようにいかないことも多々ありました。しかし、先生方や仲間が支えてくれ



たおかげで辛い時期を乗り越え、最後までやり遂げることができました。

また、学習面においても、空いた時間を有効に活用し、予習や復習に取り組みむことで定期試験や模擬試験に備えていました。そのような努力の甲斐もあり、希望の大学に進学することができました。

今後も、支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、努力を続けることで成長していきたいと思えます。3年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。



文理進学コース
3年4組
猿橋 慎之助
(佐野南中)

城西大学
理学科 数学科

本校では、生徒会長や部活動の部長といった貴重な重要な役割を務めました。これらの経験を通して、自分を成長させることができました。

高校生活ラストとなった3年次は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で予定されていた行事が延期や中止になることも多々ありました。そんな中、唯一開催することができた行事は体育祭でした。

体育祭を必ず成功させたいと思



い、会長として何ができるのかを考え、生徒会や先生方と協力し競技の変更や会場準備などに奔走しました。皆さんの協力のおかげで体育祭が無事に開催できたことにとても感謝しています。

この3年間で私が成長することができたのは、生徒会長を務めたことが一番大きいです。人前に出ることが苦手な自分を変えるきっかけにもなりました。学んだことを忘れることなく、将来に生かしていきたいと思えます。

3年間本当にありがとうございます。



総合進学コース
3年2組
佐藤 幸輝
(騎西中)

白鷺大学
法学部 法律学科

本校で過ごした3年間は、個性

あふれる友人に囲まれて、笑いの絶えない3年間でした。

部活動ではバドミントン部に所属し、関東大会出場を目標に日々の練習を頑張ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い関東大会予選も最後の大会も開催されず、悔しい思いをしま

した。なんのために練習してきたのかと考えたこともありましたが、3年間部活動を続けたことで物事一つひとつにしっかりと取り組んでいく責任や重要性を、より一層自



総合進学コース
3年3組
黒田 慎之助
(佐野南中)

栃木県警察本部

本校で過ごした日々は、とても充実したものになりました。

私は、高校生活の目標を「文武両道」として、日々努力をしてきました。学習面では毎日の授業を真剣に取り組み定期試験対策をしつかりと行ったことで、成績は常に上位を保つことができました。

所属した剣道部では、全国高校総合体育大会への出場を目指して人一倍熱心に練習に取り組んだこともあり、部長を任せられました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により大会が中止となり、

覚えることができました。また、仲間の大切さを知り、協調性を養うことができました。学習面では日々の授業の重要さを実感しました。人一倍努力して諦めないことで成績も向上し、希望の大学に合格することができました。

大学では、目標達成に向け雑草のごとく諦めず精進していきたいと思えます。お世話になった先生方、3年間ありがとうございます。

悔しい思いをしました。大会は無くなってしまうことが、部長を経験したことで自分自身が大きく成長できたと考えています。

また、進路の面では、先生方が熱心に面接指導をしてくださったおかげで、無事栃木県警察本部から内定をもらうことができました。お世話になった先生方や、支えてくれた方々に感謝しています。3年間ありがとうございます。



本校舎卒業生総代
文3の2 助川 弥音さん(小山三中)

作新学院大学	獨協医科大学	共愛学園前橋国際大学	桐生大学	群馬医療福祉大学	群馬パース大学	上武大学	高崎健康福祉大学	共栄大学	埼玉学園大学	埼玉工業大学	十文字学園女子大学	城西大学	尚美学園大学	駿河台大学	聖学院大学	東京国際大学	東京都立大学	日本医療科学大学	日本工業大学	日本保健医療大学	人間総合科学大学	文教大学	平成国際大学	植草学園大学	国際武道大学	三育学院大学	淑徳大学	城西国際大学	千葉科学大学	千葉工業大学	中央学院大学	桜美林大学	大妻女子大学
2名	1名	1名	1名	3名	2名	1名	6名	1名	1名	5名	1名	5名	1名	3名	2名	3名	4名	3名	1名	2名	6名	3名	3名	1名	1名	1名	2名	2名	3名	1名	1名	1名	2名

学習院女子大学	共立女子大学	杏林大学	工学院大学	国士館大学	実践女子大学	昭和女子大学	杉野服飾大学	清泉女子大学	大正大学	大東文化大学	拓殖大学	帝京科学大学	帝京大学	帝京平成大学	東海大学	東京家政大学	東京工業大学	東京電機大学	東京都市大学	東京福祉大学	東京未来大学	日本赤十字看護大学	日本歯科大学	日本体育大学	文化学園大学	文京学院大学	星薬科大学	武蔵野大学	立正大学	和光大学	神奈川大学
1名	2名	1名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	7名	3名	3名	4名	3名	5名	3名	1名	1名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	4名	6名	2名	2名	



〔専門学校合格者〕
 獨協医科大学附属看護専門学校 1名
 栃木医療センター附属看護学校 1名
 関東職業能力開発大学院 1名
 獨協医科大学附属看護専門学校二郷校 1名
 太田医療技術専門学校 10名
 他専門学校等 66名合格

〔短期大学合格者〕
 足利短期大学 2名
 佐野日本大学短期大学 3名
 群馬医療福祉大学短期大学部 1名
 川口短期大学 1名
 国際学院埼玉短期大学 1名
 埼玉純真短期大学 1名
 埼玉女子短期大学 1名
 聖徳大学短期大学部(女子) 1名
 大妻女子大学短期大学部 1名

〔12名〕
 神奈川工科大学 1名
 関東学院大学 2名
 松陰大学 3名
 湘南工科大学 3名
 桐蔭横浜大学 1名
 山梨学院大学 3名
 同志社女子大学 1名
 岡山理科大学 1名
 建国大学 1名

令和2年度の**主な就職先**

栃木県内	栃木県外
(株)大協精工	(株)SUBARU
シミックCMO(株)	東日本旅客鉄道(株)
日立ジョンソンコントロールズ空調(株)	まるか食品(株)
日立グローバルライフソリューションズ(株)	日本ホテル(株)
(株)小松製作所小山工場	ギンビス古河工場
いすゞライネックス(株)	山崎製パン(株)
金谷ホテル観光(株)鬼怒川温泉ホテル	セコム(株)
(株)ボン	(株)山田製作所
メディアランド・ウィング(株)	公務員
医療法人さくら会	陸上自衛官
	栃木県警察本部

就職状況

若い人材を求めろ

全国での高校生への有効求人倍率が毎年伸びている中、本校への求人数も、昨年より減ったものの引き続き六百を超える企業から求人をお願いしています。

コロナ禍で10月から始まった今年の就職試験(第一次)の内定率は、約75%でしたが、その後の二次試験や、11月上旬から各地で実施された合同面接会を経て、12月末には全員の内定を得ることができました。今年度は、事情により急遽数名の生徒が求められています。

が進路変更をしましたが、何とか内定を取れました。特に、公務員に4名の内定を頂くことになりました。

在校生においては、現在の高校生の就職状況を把握し、「ここで働きたい、努力していきます」という意欲を持つことがまず肝心です。入社試験で課せられる学力試験や面接試験に備えて基礎学力の向上に努め、部活動や資格取得に励み、自分の目標に向けて高校生生活全般を見つめ直すことが求められています。

活躍する部活動

関東大会

バントワリントン部

コロナ禍の中で...

今年度は、コロナ禍で多くの大会が開催中止になってしまいました。7月に高知県で開催予定だった。



演技中の様子

「全国高等学校総合文化祭」も現地開催は叶いませんでしたが、沢山の方々の努力で、「Web参加」という形で開催していただき、栃木県合同チームで参加しました。そんな中、栃木県大会だけは感染対策を徹底した上で、体育館での開催を実現していただき、実際に人前で演技を披露することができました。今年の曲&演技タイトル

ルは、「糸」。振り付けは、プロのダンサーをしている先輩が曲のコンセプトを伝えることに拘って創ってくださり、私たちもそれを意識して踊りました。観てくれた他のチームの人が「白鷺の演技良かったです。人の繋がり、絆みたいなものを感じて泣きそうになりました。」と言ってくれたのが何よりも嬉しかったです。この大会で「金賞」を受賞し、関東大会へ進みましたが、現地開催は中止となり「第48回バントワリントン全国大会関東支部推薦」というビデオ審査を受けました。全国大会進出は出来ませんでした。今後も目標を高く持ち、頑張ります。

女子サッカー部

2年連続3度目の出場

10月24日～11月1日、茨城県鹿嶋市で開催された第16回関東高等学校女子サッカー秋季大会に出場しました。2年連続3度目の関東大会出場となりました。

初戦は、埼玉県代表の浦和実業学園高等学校と対戦しました。前半は、お互いが出方を窺っている様子で試合が進み、0対0で終わりました。

後半に入ると、試合が動きまわりました。浦和実業に先制点を許してしま



試合前の円陣の様子

まいましたが、白鷺は速いパス回しとスピードを生かしたプレーで試合を優勢に進めていき、進3の2大野花歩さん（足利西中）のゴールで同点に追いつきました。その後も試合を優勢に進めていきましたが、浦和実業にはほんの一瞬のすきを突かれ、追加点を許してしまい、1対2で敗退しました。

初戦敗退となりましたが、最後まで全力でプレーをすることができました。今大会の経験を次に生かしていけるよう、さらに努力していきたいと思えます。応援ありがとうございました。

陸上競技部

◆関東選抜大会

松嶋さん・奈桐さんの2名が入賞

10月24・25日、群馬県前橋市正田醤油スタジアムにて、関東高等学校選抜陸上競技大会が行われました。この大会は、栃木県予選会

で各種目上位3名が本大会に出場することが出来ます。本校からは、総勢16名の選手が出場することができました。その中で、文2の4松嶋伶弥さん（小山三中）が100mと200mに出場し、200mで3位、また総2の2奈桐瑞月さん（三和中）が400mと400mHに出場し、400mHで3位に入賞することができました。昨年度の同大会で5位だった松嶋さんは、タイムを大きく伸ばし結果につながりました。奈桐さんは関東大会以上の大会で入賞することは今大会が初めてでした。このような大きな大会で結果を残すことは大変なことですが、この経験を来年度のシーズンに生かし、今年度以上の成績を収めることが



入賞した松嶋さん(左)と奈桐さん(右)

できるように努力を重ねていきたいと思います。応援ありがとうございました。

◆関東駅伝大会

トトラックレースでの駅伝大会

11月24日に宇都宮市のカンセキスタジアムとちぎにおいて、関東高等学校駅伝大会が行われました。本校からは男女ともに出場を果たしました。地元開催の関東駅伝でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため通常の駅伝とは違い、トラックレースのタイム合算方式で実施されました。



力走する菅野さん(右)

女子は第1区総3の2藤原唯奈さん（真岡中）が区間7位と健闘し、チームは最後まで粘りを見せて16位でゴールをしました。男子は文3の4菅野涼介さん（小山城南中）が第4区で区間9位とし順位を押し上げ、チームは33位でゴールをすることができました。栃木県勢としては男女ともに2位という結果を残すことができました。

来年度は通常の駅伝競走ができること信じ、これからも地道に努力を積み重ねていきたいと思います。応援ありがとうございました。

女子ソフトテニス部
全国選抜大会出場権獲得

関東選抜大会が中止となり、代替大会として全国選抜大会関東ブロック出場校選考会が2月28日に群馬県の清水善造メモリアルテニスコートで行われました。

1回戦は甲斐清和高校（山梨県）との対戦でした。1番に出た総2の3石島礼菜さん（古河二中）・総2の4斎藤楓さん（若草中）ペアと2番に出た総2の3佐藤美々香さん（山辺中）・総2の5一ノ瀬舞美さん（小山二中）ペアは安定した戦いで、4対0で勝ちました。3番に出場した総1の



大会会場にて

3菊次萌花さん（下館南中）・総1の2橋本和香菜さん（杉戸広島中）ペアも4対2で勝ち、チームは3対0で勝利しました。勝てば全国選抜大会出場が決まる準々決勝は成田高校（千葉県）と対戦しました。2面展開で行われ、2番に出場した佐藤さん・一ノ瀬さん

ペアが先に4対0で勝利。その後、1番に出場した石島さん・斎藤さんペアも4対2で勝利し、見事第3位入賞で全国選抜大会への出場権を獲得しました。応援ありがとうございました。

関東大会中止にあたって

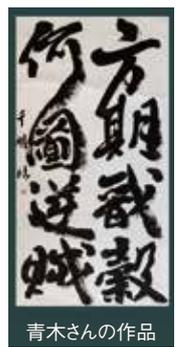
1月に予定されていたボクシングの全国選抜関東予選は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。出場予定だった選手は以下の2名です。

- 女子ボクシング部
 - 総1の1小林 清沙さん（姿川中）
 - 文2の1安藤優美菜さん（定利二中）

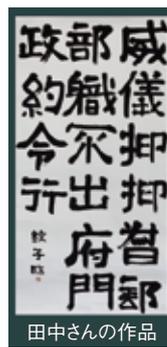
活躍する文化部

書道部
佐久全国臨書展に3名入賞

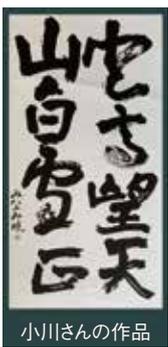
9月29・30日に第9回佐久全国臨書展の審査が行われ、作品数3231点の中から、特2の1青木千明さん（白鷗足利中）が秀作賞、総3の1田中綾子さん（毛野中）と進2の3小川みなみさん（野木二中）が佳作に選ばれました。青木さんは唐代に顔真卿が書いた力強い筆致の「祭姪文稿」、田中さんは漢代の隸書である「西狭頌」、小川さんは顔真卿の行書を臨書しての入賞でした。



青木さんの作品



田中さんの作品



小川さんの作品

今年度は、コロナ禍で部活動時間などの制約も多い状況でしたが、部員どうしで批評しあいながら作品を仕上げました。この経験は、部員たちの「来年はもっともっと書き込んで納得のいく作品を完成させたい」という思いを強くさせたようです。

演劇部
県大会出場

10月25日に地区大会で最優秀賞を頂き、11月22日に宇都宮文化会館で開催された県大会に出場しました。演目は「夏休み」。昭和11年の夏休みに小学6年生の子供たちに起こった不思議でとても悲しい物語です。戦争の恐ろしさや虚しさも愚かさを少しでも伝え共感しても

らえればと思いい、練習に励みまし

た。小学6年生の心情を表現することはとても大変で、「自分たちは高校生ではなく幼い子供！小学6年生！」と常に言い聞かせながらの練習となりました。練習の中で「感情」と「動き」は演じる上でとても大切な要素であることにも気付きました。道具・小道具作りにも時間がかかり、大会寸前まで作業をしました。努力の甲斐あって地区大会で最優秀賞を受賞したときは、涙が止まりませんでした。本当に嬉しかったです。その後、県大会では優良賞を頂くことができました。

協力してくださった方々への恩返しも含め、これからも一生懸命演じていきます。有難うございました。



「夏休み」のワンシーン

放送部
学校紹介テレビOAVTV放映

わたらせTVの番組「足利市内高等学校紹介」の中で、放送部が制作した「白鷗大学足利高等学校紹介」が11月から12月中旬まで放



映されました。

部内で企画会議をし、テーマを「白鷗の魅力は？」、「PLUS ULTRA」として、生徒からのインタビューを中心に制作することを決めました。

本校舎の生徒だけでなく、富田キャンパスの生徒にも協力してもらい、「白鷗の魅力はなんですか？」というインタビューの様子や「PLUS ULTRA」を元気よく言っている姿を撮影しました。部活動のシーンでは、部活動ごとに様々な練習風景や紹介を入れ、日頃の活動がわかるようにしました。

また、わたらせTVの方にドローン撮影してもらった映像や、日頃撮りためていた体育祭や白鷗祭などの行事の映像は、楽しさを前面に出すように編集しました。今回番組制作をしてみても、編集作業はとても大変でしたが、改めて学校の魅力を再発見することができました。番組をご覧になった方に、「白鷗の魅力」やその気持ち伝われればうれしいです。

全国大会

陸上競技部

◆U20日本室内大阪大会

～悲願の日本～

3月17・18日、大阪府大阪市大
阪城ホールにて、U20日本室内陸
上競技大阪大会が行われ、本校か
らは総2の1松本涼さん（小山三
中）が60mに出場しました。

その結果、陸上競技部初となる
全国優勝を成し遂げることができ
ました。



力走する松本さん(先頭)

松本さんは「今年も多くの方に
応援していただき、本番は落ち着
いて臨むことができました。優勝
という最高の結果で、応援してく
ださった方々に恩返しができて本
当に良かったです。次の目標に向
けて、また頑張っていきます。あ
りがとうございました。」とコメ
ントしました。インターハイや国
体での活躍にも期待したいと思
います。

◆全国高校大会リレー競技

～もったったチャンスに感謝～

10月16～18日、神奈川県横浜

日産スタジアムにおいて全国高校
陸上競技大会リレー競技が行われ
ました。本校は男子4×1000m
リレーに一走・総3の5茂呂歩夢
さん（西方中）、二走・総2の1
松本涼さん（小山三中）、三走・
総2の5中里碧翔さん（大谷中）、
四走・文2の4松嶋伶弥さん（小
山三中）のオーダーで出場しまし
た。



出場した選手たち

残念ながら予選落ちとなつてし
まいましたが、インターハイの代
替試合として開催されたこの大会
で、補欠を含めた3名の3年生が
全国大会に出場し、バトンをつな
ぐことができました。とても貴重
な経験をすることができました。
応援ありがとうございました。

◆全国高校大会

～代替試合に感謝～

10月23～25日、広島県広島市エ
ディオンスタジアムにて、全国高
校陸上競技大会2020が行われ
ました。本校からは総2の1松本
涼さん（小山三中）、総2の5中

里碧翔さん（大谷中）、総1の1
福田蒼依さん（矢板中）、文1の
2中里百葉さん（田沼東中）の4
名が出場しました。



大会会場にて

この大会は日本陸上連盟が、例
年U18・U20日本選手権として開
催していた大会でしたが、今年度
は中止となつてしまったインター
ハイの代替試合として、出場人数
を制限し行われました。

結果は男子100mに出場した
松本さんが、全国の強豪が揃う中
B決勝に進出し、見事優勝するこ
とができました。コロナ禍の中、
代替試合を開催してくださったこ
とには本当に感謝しかありません。
応援ありがとうございました。

女子バスケットボール部 ウィンターカップ2020

女子バスケットボール部は12月
23日より武蔵野の森総合スポー
ツプラザで開催された第73回全国高
等学校バスケットボール選手権大
会に出場しました。今回はコロナ
禍の中で、検温や消毒の実施、観



大会会場にて



文2の1
神山南帆さん
(陽南中)

客者の制限などの対策をしながら
の開催となりました。初戦の相手
は広島皆実高校でしたが、緊張す
ることなく、堅いディフェンスか
らの速攻が決まり、100対77で
勝利しました。2回戦は全国大会
常連の大阪薫英女学院高校で、試
合序盤は本校のペースで試合を進
めていきましたが、3ピリオドから
徐々に相手の外角からのシュート
が決まりだし、一進一退の攻防が
続き、最後は71対86で敗れてしま
いました。この敗戦を通して、毎
年全国大会を経験しているチーム

くさんの応援をいただいたことに
感謝しています。ありがとうございました。

男子ソフトボール部 「コロナ禍での全国大会」

3月26～29日、和歌山県紀の川
市紀の川市民公園多目的広場、粉
河河北緑地で第39回全国高等学校
男子ソフトボール選抜大会が行わ
れました。今大会まで公式戦もな
く練習試合も数試合しかできな
かった中で、今年度は全国大会とな
りました。また、今年はコロナ禍での開
催のため感染対策が行われ、以前
までの大会とは違った雰囲気とな
りました。しかし昨年、中止に
なったことやコロナ禍が収束して
いないことを考慮すれば、大会が
開催されたことだけでも部員に
とっては幸せなことでした。

結果は鹿児島工業高校と対戦し、
0対25の5回コールド負けでした。
課題ばかりが目立つ結
果となりましたが、ま
た次の大会
に向けて頑
張っていこ
うと思いま
す。今後も
応援よろし
くお願いし
ます。



監督からアドバイスをもらう選手たち

女子ソフトテニス部
ベスト8進出

3月28～30日、愛知県名古屋市の日本ガイシホールで全国選抜大会が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となり、2年ぶりの開催となりました。

初戦となる2回戦は、鹿児島県の指宿商業高校と対戦し、3対0で勝利しました。3回戦は一昨年度、今大会で優勝した岡山県の就実高校と対戦しました。1番に出場した佐藤美々香さん・一ノ瀬舞



観客席に挨拶する選手たち

美さんペアは安定した戦いを見せ、4対0で勝利。2番に出場した石島礼菜さん・斎藤楓さんペアは要所を押さえ4対2で勝利。チームは2対0で勝利し、準々決勝進出を決めました。準々決勝では福岡県の中村学園女子高校に1対2で

敗れてしまいましたが、堂々のベスト8進出となりました。

今大会で得た経験を今後に生かせるようにチーム一丸となつて進んでいきたいと思えます。応援ありがとうございました。



試合前にアドバイスもらう佐藤さん(左)と一ノ瀬さん

出場メンバー

- 総2の3 佐藤美々香さん(山辺中)
- 総2の5 一ノ瀬舞美さん(小山二中)
- 総2の3 石島 礼菜さん(古河二中)
- 総2の4 斎藤 楓さん(若草中)
- 総1の3 菊次 萌花さん(下館南中)
- 総1の2 橋本和香菜さん(杉戸広島中)
- 文1の4 板井 亜樹さん(みずき中)
- 総2の4 早川 媛恋さん(館林四中)

柔道部
齋五澤さんが無差別でベスト8

3月20日、日本武道館において、第43回全国高等学校柔道選手権大会が行われました。本校からは、男子個人戦に栃木県代表として2名の選手が出場しました。結果は60kg級に出場した総2の3真砂勇

陽さん(川口西中)がベスト16、無差別に出場した総1の5齋五澤凌生さん(足利一中)がベスト8に入賞し表彰されました。

新型コロナウイルスの影響による大会規模縮小から無差別以外の階級は県予選が中止され、11月に行われた県新人高校柔道大会の結果から推薦という、異例の形で出場資格獲得となり、予選にすら出場ができなかった多くの部員たちはとても悔しい思いをしました。今後は、全国大会に出場した代表選手の自信をチームの勢いにつなげるとともに、出場できなかった選手の悔しさをこれからの練習につなげ、激戦区栃木県のインターハイ予選を勝ち抜き、必ず優勝することを部員全員で誓いました。



大会会場にて

女子ソフトボール部
全員全カソフトボール

3月26～30日、愛媛県今治市において、全国私立高等学校ソフトボール選抜大会が開催されました。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、全ての大会が中止になりました。そんな中、今大会が開催されたことに心から感謝すると共に、卒業した先輩方の悔しさを胸に全力で戦ってきました。



総2の1茂呂鈴音さん(佐野南中)

予選リーグは、1勝2敗で二部トーナメント戦へ進みました。一試合毎にチームの課題や個人の責任が明確になりました。守備はピッチャーを中心に守り抜く守備力と精神力の強化、攻撃は状況に応じた責任が果たせるよう技術を磨くこととす。夏の大会に向けて

更に精進します。応援ありがとうございました。

予選リーグ

- 白鷗大足利 1対8 須磨の浦(兵庫県)
- 白鷗大足利 0対7 星 城(愛知県)
- 白鷗大足利 2対1 精華女子(愛知県)

決勝トーナメント

- 白鷗大足利 3対1 昭和学園(天分県)
- 白鷗大足利 1対2 大阪偕星(大阪府)

全国大会中止にあたって

3月に予定されていた第26回国私立高等学校男女バレーボール大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。出場予定だった選手は以下の通りです。

男子バレーボール部

- 文2の4 太田昂希さん(壬生中)
- 総2の3 須藤大智さん(大平南中)
- 文2の4 蛸澤祐介さん(板倉中)
- 総2の4 安藤温斗さん(大平南中)
- 文2の1 中野颯太さん(葛生中)
- 文2の4 星野泰佑さん(田沼東中)
- 文2の4 相場洗人さん(足利三中)
- 総1の5 鈴木陽斗さん(大平南中)
- 総1の1 齋藤仁佑さん(壬生中)
- 総1の5 高崎友輔さん(葛生中)
- 文1の2 新里 輝さん(葛生中)
- 総1の3 川上陽斗さん(葛生中)
- 総1の4 筒井航佑さん(葛生中)
- マネージャー
- 文2の3 石田未夢さん(足利三中)

本校舎トピックス

体育祭

みんなの笑顔がはじけた一日

新型コロナウイルスの影響により様々な行事が中止になりましたが、本校舎体育祭は感染対策を十分に行い10月27日に開催することができました。今まで以上に生徒が乐しめて、安全に行える体育祭にしようとして生徒会と体育科で会議を重ねました。その結果、各クラスのチーム以外に教職員チームを作り、先生と真剣勝負ができるようにしました。また新種目も取り入れました。



綱引き

最初に行った新種目の「やまかんレース」では、校長、副校長、教頭も参加し、体育祭のスタートを切るに相応しい盛り上がりを見せました。大縄跳びの回数を競う「みんなでジャンプ」では、どのクラスも練習の成果を発揮し、テナポよく跳んでいました。「綱引き」は学年別対抗のトーナメント戦で行われました。決勝戦はどの学年も白熱し、最後まで諦めず綱を引く姿が印象的でした。さらに、3年生の優勝チームは、屈強な教職員チームとの試合を行いました。結果は、教員チームを引きずるほどの力で圧勝することができました。「部活動対抗リレー」では、高校生活最後の大会が行われなかった無念を、このレースで晴らそうという気迫が感じられました。最終レースでは、圧倒的有利と目されていた陸上部が、ハプニングにより後退し、硬式野球部が1位でゴールしました。この時、会場の興奮は最高潮に達し、まるで甲子園で優勝したかのような盛り上がりでした。



部活動対抗リレー

女子の「集団演技」では、ダンスの振付の難度が非常に高く、練習で苦戦していましたが、本番は素晴らしい完成度でした。男子は組体操を行わず、人気グループ「NiziU」の縄跳びダンスを踊りました。強靱な男子もこの時ばかりは可愛らしい踊りを披露しました。

最後の「クラス対抗リレー」は、男女4名ずつで行い、体育祭の最後を締め括るに相応しいレースになりました。

総合優勝は総合進学コース3年3組で、担任の蓬田先生は教員生活34年での初めての総合優勝。「感謝感激」と喜びを爆発させ胴上げ



集団演技(女子)

をされていた姿が感動的でした。今年の本校舎体育祭は、コロナ禍に負けず例年以上に盛り上がった体育祭であったと思います。

就職ガイダンス

本校舎2学年では希望者43名を対象に就職ガイダンスを実施しました。就職希望者は今年度に入り初めて集まることができました。

- ① コミュニケーションの基本を学ぶ
- ② 様々な仕事・働き方を知る
- ③ 自分を知り、表現する

の3つのテーマから、実践的なノウハウを学びました。

講演を聴いた生徒たちは、より真剣な顔つきになってクラスに

シーガルジムオープン

本校舎体育館南側にあった旧実習場の金工室を改修し、令和2年4月に「シーガルジム」がオープンしました。

「シーガルジム」の設置目的は



授業風景

戻っていききました。貴重な経験を経て、より良い進路選択ができることでしょう。



ガイダンスの様子



ジムの器具

2つあります。一つは総合進学コースのアスリート分野の授業で体育の授業をより発展させた、体を鍛えるトレーニングの授業を展開していくためです。もう一つは運動部活動をより充実させるためです。体を鍛えフィジカルを高めることは競技力の向上だけでなく怪我をしない体づくりのために重要です。生徒の皆さんには、シーガルジムを利用することで自らの健康の保持増進に努めてほしいと思います。

進路ガイダンス 及び進路探究

本校舎1学年の探究学習の一環として、11月18日に進路ガイダンスを実施しました。第一部の全体会ではライセンシアカデミーの高野先生による講話を聴きました。今年度は新型コロナウイルス対策として各教室の校内テレビ放送で視聴し、今後の進路選択に向けての心構えや今をどう過ごすべきかについて、有意義なお話を聴くことができました。

第二部では分科会として、各自が希望した分野に分かれて大学や専門学校の先生方からそれぞれの分野での学びや、仕事内容、求められることについての説明を聴き、学習しました。希望分野に対しての理解を深め、モチベーションを



分科会の様子

高めたようでした。また、年間を通して総合的な探



パワーポイントでの発表

究の時間を使って進路探究を進め、その発表をパワーポイントで行い

Zoomで ホームルーム

1月に入つて、新型コロナウイルスの感染状況が深刻化し、栃木県も緊急事態宣言対象地域に追加されることが濃厚になったことから、3年生の自宅学習開始を例年より約3週間早めることになりました。そのため、担任と生徒、生徒同士のコミュニケーションが制限されることの弊害が懸念される上、4月以降多くの進路先でもオンライン授業が展開されることも想定されることから、本校舎の3

学年では、クラスごとに日時を設

きました。希望する進路、学問、学校、職業等について書籍やインターネットサイト等を通して調べた情報をまとめ、自分の夢の実現に向けて目標を定め、その研究成果を発表しました。リハーサルの時点では人前で話すことに不慣れた様子もあり、声が小さい、顔を上げられない、という状況もありましたが、練習を重ねることによってプレゼンテーションスキルの成長が顕著に見られました。

コロナ禍での進路ガイダンス、進路探究ということで例年とは異なる形式になりましたが、その中でも生徒たちは非常に良く取り組みました。今後の進路実現につながることを期待されます。

定し、Web会議システムのZoomアプリを使用してホームルームを実施しました。

生徒たちも、最初は緊張気味でしたが、回を重ねるうちに、表情にも余裕が見られるようになりました。その様子からは、生徒たちの成長を感じ取ることもできました。



Zoomによるホームルーム

富田キャンパスピククス

体育祭

10月6日に富田校舎体育祭が行われました。今年はコロナ感染拡大を受け競技数を大幅に減らし、例年とは異なる形での開催となりました。しかし、全校生徒が参加する学校行事としては本年度初であり、生徒たちの楽しもうという思いが伝わってきました。



新競技:ボールリレーの様子

スリレーの他、コロナ禍の中でも出来る新競技として、学年対抗ボールリレーが行われました。この競技は、4人一組でシートを広げ、大きなボールをリレーするものです。また、女子全員でのダンスにも生徒の振り付けが採用されるなど、コロナ禍でも楽しい体育祭になるよう、様々な工夫がなされました。

本年度の体育祭は、細かい制約

第26回合唱祭

「コロナ禍を乗り越えて」

がある中、短いながらも多くの思いを残すことができました。11月20日、26日に第26回富田校舎合唱祭が開催されました。今年度はコロナ禍により、20日にクラスごとの合唱とゲストの石井道康さん、たきがわよしひろさんによるミニコンサートを収録し、26日に収録した映像を鑑賞するという形での開催となりました。



合唱祭の一コマ

今年度の課題曲はLittle Glee Monsterの『足跡』でした。生徒たちは「三密」を避けながら、早朝や放課後の練習に励み、本番ではコロナ禍での制限を感じさせない素晴らしいハーモニーを奏でてくれました。生徒にとつて、思い出に残る素晴らしい合唱祭になったと思います。

1年生作文コンクール入賞

富田校舎1年生は毎年夏休みを利用して作文コンクールに挑戦しています。その中で、今年は三つの作文コンクールにて入賞しました。入賞者は以下の通りです。

◆**青少年作文**
最優秀賞「生命」
進1の1鶴田彩実さん(総和中)



足利税務署長より賞状を頂く佐藤さん

優秀賞「休部にかけた思い」
進1の4野村かおりさん(大泉南中)

佳作「私の家は四世代家族」
進1の1梁島晴登さん(壬生中)

◆**税の作文**

栃木県安足県税事務所長賞

「私たちの社会と税」

特1の1佐藤花菜さん(板倉中)

◆**人権作文**

佳作「外国人差別について感じたこと」

特1の2吉尾亮太郎さん(足利二中)

探究学習

2年生

昨年に続き2年度目になる2年生の進路探究学習の発表会が11月7日・12日の2日間にわたって行われました。

この発表会はこれからの大学入試、ひいては社会に出てから必要

卒業式

今年度の卒業式は、コロナウイルス感染防止のために、本校舎と



シーガルホールでの卒業式風景

富田校舎の各校舎において、卒業生と本校職員で執り行われました。保護者の方へは卒業式の様子をライブ配信しました。富田校舎での卒業式は初めてのことで、卒業生にとって思い出に残るものにした。いと職員と在校生で準備しました。シーガルホールで行われた卒業式は、厳粛な中にも富田校舎らしい温かみのあるものでした。答辞を務めた進3の2持田真衣さん(多々良中)の富田校舎での3年間の思い出と、支えてくれた家族や友人への感謝の言葉を聞き、卒



富田キャンパス卒業生総代 進3の2持田真衣さん(多々良中)

業生一人ひとりが高校生活を回想していたようでした。特進コース・進学コース合計158名の生徒全員が、晴れやかな笑顔で富田校舎を卒業していきました。

とされる思考力・判断力・表現力の養成を目的に実施されました。それぞれのグループが希望進路にそったテーマを設定し、調査し、工夫しながらパワーポイントを作って発表する過程を通して、この三つの力の重要性・必要性を実感することができたと思います。

1年生

3月11日、13日にシーガルホールにおいて、富田校舎第1学年による進路基礎探究講座発表会が行われました。新入試の対策として、学力の三要素の(知識・技能)・(思考力・判断力・表現力)・(主体性・多様性・協調性)を養ってほしいということから実施したものです。班ごとにテーマを決め、仮説を立てて、数学Iのデータの分析で学習した相関係数等を求め仮説が正しいかを

検証し、パワーポイントを使用し、発表しました。新型コロナ感染症の影響で限られた時間の中で、生徒が熱心に取り組んでいるのが印象的でした。

進学講演会

1・2年生

3月6日に2年生、15日に1年生を対象に、キャリアアカウンセラーの澤田和美先生を講師にお迎えして、学びみらいPASS解説講演会を実施しました。



学びみらいPASS解説講演会

事前に行ったPROG-Hの結果をもとにした「リテラシー」と「コンピテンシー」に「学習・生活状況調査」の結果を加えて分析し、自己の適性や強みを知ること、それを将来にどう生かしていくかを考えるための講演会です。ただ講演を聞くだけでなく、講師の先生に直接質問することで疑問を解決し、また自分で自己PRを

考えたり、友人と意見を交換したりしながら、より深く自分を知るための貴重な時間を持つことができました。

さらに、探究学習を行うことで、今後必要となる「三つの学力」を伸ばしていくことが期待されます。

2年生

3月16日、ベネッセコーポレーションから本田志帆先生を迎えて進学講演会を実施し、21年度入試の動向と初の共通テストの分析結果を踏まえて、「今何をすべきか」ということを中心にお話をうかがいました。



進学講演会

授業を中心とした学習で基礎を固めること、復習を毎日継続すること、学習の「見える化」の重要性など、生徒たちがすぐに始められる受験対策をアドバイスいただき、受験に向けてのモチベーションを高めるきっかけになりました。

白鷗大学だより

フルス ウルトラ PLUS ULTRA —さらに向こうへ。

足利銀行と地方創生の推進に関する協定を結び （北関東をもちあげるために）

白鷗大学は、株式会社足利銀行と地方創生の推進に関する協定を結びました。

11月11日に行われた調印式で奥島孝康学長は、「大学として研究による地域貢献を図るとともに、民間の力を活用し地域の持続性を



調印する奥島学長(左)と清水頭取(右)

得ることを目指していきたい」と連携に期待を示しました。

この協定は、奥島学長の言葉の通り持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的に締結されました。幅広い分野において相互に協力・連携し、各々が有する経営資源や機能を有効に活用することで相乗効果を高めながら、地域の活性化とその担い手の育成に取り組みます。

今後は講演会やワークショップ

等のイベント、足利銀行の行員による授業のほか白鷗大学の教員が足利銀行の月報に寄稿するなど、さまざまな事業を計画しています。

白鷗大学

WEBフォーラム開催

（医師のきたやまおさむ先生が講演）

毎年、著名なゲストを招き、東京のよみうり大手町ホールで開催している「白鷗大学フォーラム」。

今年も、新型コロナウイルス感染症の影響により、初のWEB開催となりました。医師で白鷗大学名誉教授のきたやまおさむ先生が講師

を務め、「きたやまおさむと語る『危機と日本人』シリーズ」と題し、全3回に渡って開催されました。

第1回は9月27日、「コロナと日本人の深層心理」をテーマに、指定討論者として白鷗大学教育学部教授で心理学専攻の伊崎純子先生を招き、講演と討論を行いました。

第2回は11月29日、「あの素晴らしい愛について」をテーマに、ゲストに精神科医の香山リカ先生を招き講演と討論を行いました。

第3回は2月7日、「日本人の心と未来」をテーマに、江戸文化研究者の田中優子先生との対談と、ミュージシャンの白井貴子さんに

よる歌唱が行われました。

昨年は16都道府県からの応募でしたが、今年は44都道府県と海外からの応募もあり、オンラインの利点が生かされました。今後も社会の状況を見極めながら、社会貢献活動を進めてまいります。



きたやまおさむ先生(左)と司会の官家ゆかりさん

インカレで男女バスケットボール部が好成績 （コロナ禍の活動を乗り越えて）

第72回全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ）において、女子バスケットボール部が準優勝、男子バスケットボール

部が3位入賞を果たしました。

女子は、決勝戦において昨年に続いて東京医療保健大学と対戦。ほぼ互角の立ち上がりながらも最

後は一歩及ばず、2年連続の全国2位となりました。

インカレ4強入りは8年連続9回目です。個人では今村優花選手（教育学部4年）が敢闘賞、シ



敢闘賞に輝いた今村選手

ランハナファトーザ選手（経営学部4年）が優秀選手賞とリバウンド王を獲得しました。男子は、2年連続3回目の4強入り。個人では荒谷裕秀選手（教育学部4年）が優秀選手賞に輝きました。

全国の大舞台で練習の成果を発揮できたことは、スポーツができる喜びと支えてくれた多くの人々への感謝を改めて実感する機会となりました。男女両チームともに、今後ますますの活躍が期待されます。

PTAだより

コロナに負けずに頑張ろう PTA会長 西場 伸一



卒業生の皆さん、保護者の皆様
御卒業おめでとうございます。

本来であれば3年間の「白鷗大
学足利高等学校」の生活で、楽し
い思い出を積み重ねるはずでした
が、「新型コロナウイルス」とい
う感染症の流行により、卒業生の
皆さんには辛い思い出も残ってし
まいましたね。「文理進学コー
ス」と「総合進学コース」の皆さ

生徒会役員誕生

11月2日の認証式をもつ
て生徒会が発足しました。
新生徒会は、本校舎8名、
富田校舎13名の計21名です。
一人ひとりがやる気に満ち
溢れており「学校を今まで
以上に良くしよう」との熱
い思いを持っています。登
校時の挨拶運動、ベットボ
トルキャップ回収などを引
き継ぎ、さらに今までの学
校行事の見直しを始めまし
た。新型コロナウイルス



本校舎生徒会役員

- | | | |
|------|---------------|--------------|
| 会 | 長文2の4 | 永瀬 渉 (佐野南中) |
| 副会長 | 総2の4 | 小野見夏琉 (佐野北中) |
| 議 | 長総2の5 | 藤貫 哲矢 (結城東中) |
| 副議長 | 藤井 柚子 (加須昭和中) | |
| 計 | 計総2の1 | 五十畑 葵 (佐野南中) |
| 総 | 中村 優花 (小山城南中) | |
| 総2の3 | 本郷 樺乃 (境野中) | |
| 会計監査 | 総1の4 | 館野 里彩 (野木中) |



富田校舎生徒会役員

- | | | |
|------|---------------|---------------|
| 副会長 | 特2の1 | 長島 知哉 (白鷗足利中) |
| 議 | 長特2の1 | 大槻 拓夢 (宝泉中) |
| 副議長 | 特2の1 | 蜂須 優真 (白鷗足利中) |
| 書記 | 特2の1 | 須永 来夢 (山辺中) |
| 計 | 特1の2 | 佐藤華奈瑠 (邑楽中) |
| 計 | 特2の1 | 三隅 健史 (佐野南中) |
| 監査 | 丸山 貴之 (邑楽南中) | |
| 特1の1 | 山口 来華 (館林三中) | |
| 進1の2 | 岩瀬明日羽 (大泉南中) | |
| 進1の2 | 藤田 理佐 (小山二中) | |
| 進1の3 | 前川 乃映 (大谷中) | |
| 進1の4 | 新里 真玄 (協和中) | |
| 特1の2 | 吉村 真依 (白鷗足利中) | |

んは予定されていた、高校生活最
大のイベントである修学旅行が中
止になってしまい、言葉には言い
表せない程のショックを受けたこ
とでしょう。卒業生の皆さんも在
校生の皆さんも、4月からの学校
生活は「休校措置」から始まり、
「分散登校」など過去に経験した
ことのない状況で1年間を過ごし
てきました。しかし、各種の学校
行事が中止になる中で、教職員の
皆様のご努力により「本校舎」も
「富田校舎」も体育祭を開催する
事ができ、楽しい思い出を作る事
が出来たのではないのでしょうか。

消毒液寄贈 生徒の感染予防にと

10月17日、群馬県太田市にある
三和食品(株) 石川徹也社長から、
生徒の手指消毒用として、自社製
品の消毒液(サンワテック67) 50
本が寄贈されました。校長室を訪
れた石川社長から、コロナ禍でい



消毒液を渡す石川徹也社長(右)と岡部校長(左)

石川社長は、かつて本校に社会
科の教員として勤務していたこと
があり、「休校や各種行事の中止
など、学校生活が制限されている
まいります。

ろいろ大変な状況におかれた生徒
たちの感染予防に使って欲しいと、
岡部校長に手渡されました。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大に
よる最初の緊急事態宣言から1年
が過ぎました。この1年間、世界
は新型コロナウイルスの脅威にさ
らされ、人々は行動制限を余儀な
くされました。

そんな中、我が国ではワクチン
接種の開始や、規模を縮小したイ
ベント、各種大会が開催されるな
ど少しずつ明るい兆しも見え始め
ました。しかし、まだ予断を許さ
ない状況が続いています。今後は、
ウイルスと共存した社会を構築す
る必要があり、人類は分岐点に立
たされています。

先行き不安な世の中ではありま
すが、こんな時こそ足元を見つめ、
情報を見極める力、思考力、判断
力を養っていききたいものです。

※ お忙しい中、原稿・写真等の
協力ありがとうございました。
編集・校報委員会
発行・白鷗大学足利高等学校
足利市伊勢南町3の2
0284-4110890
制作・(有)コイエプロセス
発行日・令和3年3月31日